



大きな期待を胸に飛び立った僕を待っていたのは、とにかく大きいアメリカでした。土地の広さ、道路の広さ、体格の大きさ、食事の量の多さに驚きました。

初めの2、3日は、食生活の違いや空気が乾燥していることなどから少し体調を崩しました。でも、すぐにアメリカの生活に慣れ、その後は全身でアメリカを楽しむことができました。アメリカの自然にも驚きました。港にはアシカがいるし、街中にリスがたくさんいます。鹿や、日本では見たこともない鳥がいたり動物好きの僕には最高の場所でした。

アメリカでの一番の思い出は、ホームステイです。ホストマザーのキムは、とてもやさしく、僕が英語を理解できずに困っていても、身振り手振りを加えて一生懸命話してくれました。心のこもった手料理もおいしく、毎日楽しく過ごしました。ブラザーのクリスは、ポケモン大好きいやんちゃな男の子でした。すぐに

仲良くなってくれ、みんなでだるま落としや、紙風船で遊びました。また、サンフランシスコの科学博物館に連れて行ってもらい、いろいろな科学実験をしたのも楽しかったです。別の海外派遣生のホストファミリーの家に泊ったり、庭でテントを張ってキャンプもしました。夜、芝生のスプリングラーから突然出た水でテント中びしょびしょになり、眠れなくなっただけでも今では楽しい思い出です。別れの時は、楽しかった8日間を思うと涙をこらえるのが大変でした。

このアメリカでの生活は、最高でした。それは、広い土地、雄大な自然、明るくおやかで社交的なアメリカ人、親切な先生方、楽しい仲間たちのおかげです。僕の夢は、世界中の生き物を見て回ることです。今回の経験はそのための勇気とエネルギーをプレゼントしてくれました。本当にありがとうございました。



▲ホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。(右端が木林理さん)



広大なアメリカへ、不安と期待を抱き、日本を離れました。飛行機の中では、「私の英語が通じるのだろうか。」という不安が、広がりました。そして、ついにアメリカへ到着。しかし、まだアメリカへ来たという実感がわきませんでした。

アメリカに着いて4日後、一番の不安の種だったホームステイが始まりました。ホストファミリーは、私のお話、ジェスチャーも交えた無茶苦茶な英語を、必死で理解しようとしてくださいました。最初は、不安だった私も少しずつホストファミリーに心を開くことができるようになりました。そして、土曜日、サンフランシスコの夜景を見に連れていかれてくれました。これまで見たことのないような素晴らしい夜景は、声がないくらいきれいでした。また、次の日食べた9日ぶりの日本食、天ぷら・みそしる・ご飯も格別でした。ホームステイは、あっとい間に終わってしまい、サクラメントを離れ

る時は、とても辛かったです。ホームステイ、市内観光、ショッピング、デイズニールランド、全てが私の夏休み最高の思い出になりました。そして、私は、この海外派遣で三つのことを学びました。一つ目は、子どもの自立心を育てるために、「自分のことは自分でさせる。」ようにしていることです。二つ目は、日常生活の中で、「Thank you」や、「Excuse me」が、自然に発せられるということ。三つ目は、日本を客観的に見ることができ、日本の文化の良さを再確認できたことです。

こんなすてきな日々を過ごすことができたのは、ホストファミリーの方たち、アメリカでお世話になった方たち、そして派遣生のみんなのおかげです。この海外派遣というチャンスに、いろいろなチャレンジができました。自分を少しでも変えていきたいです。



▲友人たちといっしょに!(右端が足立さちさん)